

○航空機騒音の評価指標及び測定方法について

WECPNL (Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level)
(加重等価平均感覚騒音レベル)

航空機騒音のうるさを評価する指標で、「うるささ指数」などと呼ばれている。
最大騒音レベルを用いて、これに音響の強度、発生時間帯などの諸要素を加味し、簡易に算出できるようにしたもの。

測定方法は、昭和63年7月「航空機騒音監視測定マニュアル」による。

Lden (Day-Evening-Night Sound Level)
(時間帯補正等価騒音レベル)

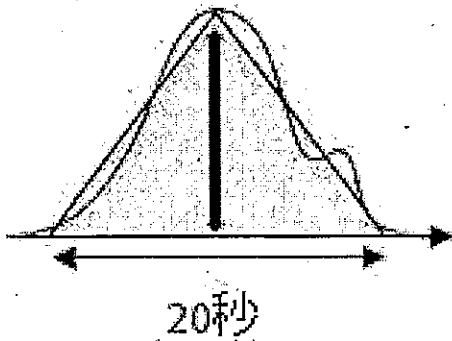
等価騒音レベルを基本とした指標で、間欠的な騒音をはじめ騒音のエネルギー量が数量的に反映されるため、主観的な騒音の大きさと対応がよいとされる。

※ 「等価騒音」とは時間とともに変動する騒音について、一定期間の平均的な騒音の程度を表す指標のひとつ。騒音レベルが時間とともに変化する場合に、ある期間の騒音エネルギーの総量を求めるもの。

測定方法は、平成24年11月「航空機騒音測定・評価マニュアル」による。

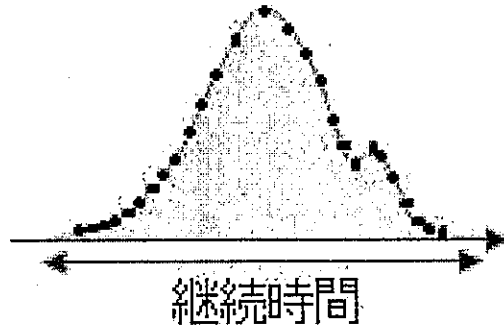
(測定イメージ)

WECPNL



- ・騒音の最大値を測定
- ・継続時間を20秒に統一

Lden



- ・1秒毎の騒音値を測定
- ・継続時間を測定

